

○1年生 「薬物乱用防止出前講座」 平成29年1月19日(木)

薬剤師と保護司の方を講師に迎え、薬物乱用防止出前講座を開きました。薬物は深刻な社会問題となっており、薬物の汚染は私たちの身近にせまってきました。薬物に関する正しい知識を身に付け、薬物に手を出さない強い意志をもつことを目的に実施しました。

◆生徒の感想を一部紹介します。

薬物は自分にも大きな害が起るし、他の人にも暴力を振るったりして傷つけてしまうことも学びました。「ダメ、ゼッタイ」という言葉を忘れずに「一回ならいいや。」ということにならないような生活がしたいと思いました。

わたしは薬物を「使ったら危ない」程度しか思っていなかったけれど、一度使ったら脳から「使え」という指令が来て、有害物質を取り除く体の部分で薬物は感知されないと知って、使ってはいけないものだと思いました。治す薬がないので、何があっても使わないようにしようと思いました。

○2年生 「認知症サポーター養成講座」 平成29年1月24日(火)

各務原市地域包括支援センター かかみ野 より4名の方に来ていただき、認知症サポーター養成講座を開きました。高齢化社会の重要な課題の一つである「認知症の増加」は、本人、家族、地域の中で誰もが直面する可能性がある大きな課題であり不安です。認知症について、正しく理解し、どのような心構えで向き合えば、認知症の人や家族を温かく見守ることができるのかを考えました。安心して暮らせる地域づくりにもつながります。

◆生徒の感想を一部紹介します。

私のおじいちゃんが認知症なのかわかりませんが、よく物を忘れてしまったり、二度同じことを言ったりします。私は、おじいちゃんと話す時は、ゆっくり話しながら「ねえ、大丈夫？」と聞いています。また、二度同じことを話していたら、「さっきも聞いたってー」と笑いながら言うようにしています。

“何度言っても理解してくれないというところから、ついがまんできなくなって怒る”というのは、本人にとってみれば“悲しい気持ちになることなので、その本人を分かろうとする気持ちをもって優しく接すると、自分も本人も嫌な気持ちにはならないのでよいと思いました。

・・・。デイサービスセンターで働いている母が、相手の目を見て優しくゆっくり大きな声で話しかけているのを見たので、「そうすれば通じるんだ！」と思いました。僕は認知症の方と話す機会があったら、優しく相手の目を見て、感情を含めて、話しかけられるようにになりたい。※一部抜粋



○飯館中学校の皆さんから、ハガキが届きました。 交流を通して感じたこと、学んだことが残っています。

◆一人の仲間のハガキを紹介します。

12月18日に私達の学校に来てくださってありがとうございました。中央中の生徒の方は人見知りの私でも話せるくらいノリがよく、フレンドリーでとても楽しかったです。私がこの交流を通して感じたことは、中央中の生徒さんは優しいんだなと思いました。私達の村のことも考えてくださり、自分の意見をしっかりと言っているところに尊敬しました。ぜひこれからも交流を続け、お互いに良い所はまねをしたりといいかたちで続けられたらいいです。今の自分達には何ができるか考え、生活していきたいと思います！これからも優しい人たちでいてください。

☆パネルを職員室前に掲示しています。ぜひ読んでください。保護者の皆様も来校の際にご一読ください。

連絡事項

【卒業式に係るお知らせ】※後日、卒業式に係る案内文書を3年生に配付します。

1 日 時 平成29年3月7日(火)

受付：8：20～ 保護者入場完了：8：45(扉を閉めます)

開式：9：00

2 場 所 卒業式：中央中学校 体育館

学級会：3年生各教室

3 その他 ※後日、臨時休業に係る案内文書を1年生に配付します。

(1) 2年生は、卒業式に参加します。

(2) 1年生は、臨時休業日とします。(卒業式に参加しません。当日は、正午までは外出しません。)

(文責 教頭 山田 弘)